

基本計画書

基本計画										
事項	記入欄								備考	
計画の区分	大学院の設置									
フリガナ設置者	カッポホカジン ヨコハマショウカガクイナ 学校法人 横浜商科大学									
フリガナ大学の名称	ヨコハマショウカガクイナ 横浜商科大学大学院 (Yokohama College of Commerce Graduate School)									
大学本部の位置	横浜市鶴見区東寺尾4丁目11番1号									
大学の目的	教育基本法及び学校教育法に則り、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究め、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、「安んじて事を托さるる」人材を育成することを目的とする。									
新設研究科等の目的	社会・企業・組織が持つ経営上の人的、時間的なコストの問題などによりデータサイエンスの活用が十分に検討されてこなかった、検討することのできなかつた規模でのビジネスの現場と高度なデータサイエンスのもたらす効能や知見を橋渡しするブリッジ人材を、建学の精神である『安んじて事と托さるる人となれ』の下、養成することを目的としています。									
新設研究科等の概要	新設研究科等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	【基礎となる学部】 商学部 14条の特例の実施
	横浜商科大学大学院 商学研究科 商学専攻 計	2年	5人	- 年次人	10人	修士(商学) 【Master of Arts in Commerce】	経済学関係	令和7年4月 第1年次	横浜市鶴見区 東寺尾4丁目 11番1号	
同一設置者内における変更状況 (定員の移行, 名称の変更等)	該当なし									
教育課程	新設研究科等の名称	開設する授業科目の総数				修了要件単位数				
	横浜商科大学大学院 商学研究科 商学専攻	講義	演習	実験・実習	計	30 単位				
		17 科目	5 科目	0 科目	22 科目					
研究科等の名称		専任教員					助手	専任教員以外の教員 (助手を除く)		
		教授	准教授	講師	助教	計				
新設	横浜商科大学大学院 商学研究科商学専攻	8人 (8)	2人 (2)	0人 (0)	0人 (0)	10人 (10)	0人 (0)	1人 (1)		
	計	8人 (8)	2人 (2)	0人 (0)	0人 (0)	10人 (10)	0人 (0)	1人 (1)		
既設	該当なし	-	-	-	-	-	-	-		
	計	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
合計		8人 (8)	2人 (2)	0人 (0)	0人 (0)	10人 (10)	0人 (0)	1人 (1)		
職種		専属			その他			計		
事務職員		32人 (32)			26人 (26)			58人 (58)		
技術職員		-			-			-		
図書館職員		1 (1)			1 (1)			2 (2)		
その他の職員		-			-			-		
指導補助者		-			-			-		
計		33人 (33)			27人 (27)			60人 (60)		

校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	25,792.47㎡	0㎡	0㎡	25,792.47㎡				
	そ の 他	29,836.37㎡	0㎡	0㎡	29,836.37㎡				
	合 計	55,628.84㎡	0㎡	0㎡	55,628.84㎡				
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		17,540.45㎡ (17,540.45㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	17,540.45㎡ (17,540.45㎡)				
講義室等・新設研究科等 の専任教員研究室		講義室	実験・実習室	演習室	新設研究科等の 専任教員研究室				
		33	0室	12室	45 室				
図 書 ・ 設 備	新設研究科等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	電子図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 冊	機械・器具 点	標本 点	大学全体で共用	
	横浜商科大学大学院 商学研究科 商学専攻	185,000 [27,000] (181,000 [26,000])	350 [10] (270 [5])	5,000 [3,900] 5,000 [3,900]	4,000 [3,900] 4,000 [3,900]	4 (4)	0 (0)		
	計	185,000 [27,000] (181,000 [26,000])	350 [10] (270 [5])	5,000 [3,900] 5,000 [3,900]	4,000 [3,900] 4,000 [3,900]	4 (4)	0 (0)		
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次		
	教員1人当り研究費等		150千円	150千円	- 千円	- 千円	- 千円		
	共同研究費等		1000千円	1000千円	- 千円	- 千円	- 千円		
	図書購入費	17561千円	17561千円	17561千円	- 千円	- 千円	- 千円		
	設備購入費	0千円	1000千円	1000千円	- 千円	- 千円	- 千円		
	学生1人当り 納付金		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次		
		710千円	610千円	- 千円	- 千円	- 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金							
既 設 大 学 等 の 状 況	大 学 等 の 名 称	横浜商科大学							
	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	収容定員 充足率	開設 年度	所 在 地
		年	人	年次 人	人		倍		
	商学部							昭和43年度	横浜市鶴見区東寺尾 4丁目11番1号 令和6年度 入学定員増(35人)
	商学科	4	180	6	627	学士(商学)	1.27	昭和43年度	
観光マネジメント学科	4	70	4	288	学士(商学)	0.82	平成27年度		
経営情報学科	4	80	0	320	学士(商学)	1.11	昭和49年度		
附属施設の概要	名 称：横浜商科大学地域産業研究所 目 的：地域の経済・社会・産業に関する実践的な調査研究を通じて、地域産業、 社会に貢献するとともに、その成果を本学学生及び地域の人材育成に寄 与すること 所 在 地：横浜市鶴見区東寺尾4-11-1 設置年月：平成6年5月 規 模 等：58.93㎡								

教 育 課 程 等 の 概 要															
(商学研究科商学専攻)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目	データサイエンスと商学	1前	/	2			○			1					
	経営とデータサイエンス	1前		2			○			1					
	情報セキュリティ論	1前		2			○			1					
	小計 (3科目)	—	—	6	0	0	—	—	—	3					—
データサイエンス科目	ナデータリシタスア	1前	/	2			○			1					
	データアナリシス2	1後		2			○			1					
	小計 (2科目)	—	—	4	0	0	—	—	—	1					—
	ジデータグニタスア	1前	/	2			○			1					
	データ処理論	1後		2			○			1					
	機械学習論	1後		2			○			1					
	小計 (3科目)	—	—	2	4	0	—	—	—	1					—
	ンデータグデ	1前	/	2			○				1				
	小計 (1科目)	—		—	0	2	0	—	—	—	1				
	価値創造科目	経営戦略論	1後・2前	/	2			○							
組織行動論1		1後・2前	2				○			1					
組織行動論2		2前	2				○			1					
小計 (3科目)		—	—	0	6	0	—	—	—	1					1
マーケティング分野		1後・2前	/	2			○				1				
ソーシャルメディアマーケティングと消費者行動		1後・2前		2			○			1					
スポーツアナリティクス特論		1後・2前		2			○				1				
小計 (3科目)		—	—	0	6	0	—	—	—	1	2				—
会計分野		1後・2前	/	2			○			1					
経営分析論		2前		2			○			1					
小計 (2科目)	—	—	0	4	0	—	—	—	2					—	
演習科目	演習1	1後	/	2				○		2	1				共同
	演習2	2前		2				○		2	1				共同
	演習3	2後		2				○		2	1				共同
	研究指導 (修論指導) 1	2前		2				○		8	2				共同
	研究指導 (修論指導) 2	2後		2				○		8	2				共同
	小計 (5科目)	—	—	10	0	0	—	—	—	8	2				—
合計 (22科目)	—	—	22	22	0	—	—	—	8	2				1	—
学位又は称号	修士 (商学)			学位又は学科の分野			経済学関係								
卒業・修了要件及び履修方法									授業期間等						
(修了要件) 大学院に2年以上在学し、基礎科目から必修科目を6単位、データサイエンス科目から選択科目を8単位以上、価値創造科目から選択科目を6単位以上、演習科目から必修科目を10単位、合計30単位以上を修得するとともに、必要な研究指導を受けたうえで、本大学院が行う修士論文の審査及び試験に合格することとする。 ただし、原則として年間履修登録の上限を20単位とする。									1 学年の学期区分			2期			
									1 学期の授業期間			14週			
									1 時限の授業の標準時間			100分			

教 育 課 程 等 の 概 要																		
(商学部 商学科)																		
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考			
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外(助手を除く)の教員		
社会力基礎科目	社会力演習1	1・2・3・4		2					○			5	6	1				
	社会力演習2	1・2・3・4		2					○			5	6	1				
	ICTリテラシー1	1・2・3・4		2					○			4	5	2			2	
	ICTリテラシー2	1・2・3・4		2					○			4	5	2			2	
	キャリアデザイン1	2・3・4		2				○				2	2	1			1	
	キャリアデザイン2	2・3・4		2				○				2	2	1			1	
	キャリアデザイン3A	3・4			2			○				1		1				
	キャリアデザイン3B	3・4			2			○										
	キャリアデザイン3C	3・4			2			○										
	キャリアデザイン4A	3・4			2			○				1		1				
	キャリアデザイン4B	3・4			2			○										
	キャリアデザイン4C	3・4			2			○										
	English Conversation1	1・2・3・4			2				○			1	1					4
	English Conversation2	1・2・3・4			2				○			1	1					4
	English Conversation3	2・3・4			2				○				1					3
	English Conversation4	2・3・4			2				○				1					3
小計 (16 科目)		—	—	20	12				—		26	30	10				20	
学部共通科目 総合基礎科目	文学	1・2・3・4			2				○			1						
	世界史	1・2・3・4			2				○									1
	日本史	1・2・3・4			2				○									1
	倫理学	1・2・3・4			2				○			1						
	哲学	1・2・3・4			2				○			1						
	心理学	1・2・3・4			2				○			1	1					
	文化人類学	1・2・3・4			2				○									1
	社会学	1・2・3・4			2				○			1						
	日本国憲法	1・2・3・4			2				○			1						
	社会心理学	1・2・3・4			2				○			1						
	環境科学	1・2・3・4			2				○				1					
	コンピュータ活用1	1・2・3・4			1						○							1
	コンピュータ活用2	1・2・3・4			1						○							1
	スポーツ演習	1・2・3・4			2					○			1	1				1
	健康科学	1・2・3・4			2				○					1				
	現代社会の諸問題A	1・2・3・4			1				○									
	現代社会の諸問題B	1・2・3・4			1				○									
	中国語会話1	1・2・3・4			2				○				1					
	中国語会話2	1・2・3・4			2				○				1					
	中国語会話3	1・2・3・4			2				○				1					
	中国語会話4	1・2・3・4			2				○				1					
	総合日本語1	1・2・3・4			2				○				1					
	総合日本語2	1・2・3・4			2				○				1					
	総合日本語3	2・3・4			2				○				1					
	総合日本語4	2・3・4			2				○				1					
	国際理解A	1・2・3・4			2					○			1					
	国際理解B	1・2・3・4			2					○			1					
	国際理解C	1・2・3・4			2					○			1					
	国際理解D	1・2・3・4			2					○			1					
	特別講義A1	1・2・3・4			2				○									
	特別講義A2	2・3・4			2				○									
	特別講義A3	1・2・3・4			2				○									
	特別講義A4	1・2・3・4			2				○				1					
小計 (33 科目)		—	—		62				—		8	15	2				6	

留学生必修
留学生必修
留学生必修
留学生必修

学部基礎科目	ゼミナール1	2・3・4		2	○		13	6	2			
	ゼミナール2	2・3・4		2	○		13	6	2			
	ゼミナール3	3・4		2	○		21	7	2			
	ゼミナール4	3・4		2	○		21	7	2			
	ゼミナール5	4		2	○		17	7	3			
	ゼミナール6	4		2	○		17	7	3			
	商学基礎	1・2・3・4		2	○		1					
	経済学基礎	1・2・3・4		2	○		1	1				
	会計基礎	1・2・3・4		2	○		1		1			
	小計（9科目）	—	—	18		—	105	41	15			
学部専門科目	マーケティング1	1・2・3・4		2	○		3	1				
	経営学1	1・2・3・4		2	○		1					
	会計学1	1・2・3・4		2	○		2		1			
	民法1	1・2・3・4		2	○		1					
	労働法	1・2・3・4		2	○							1
	社会保障論	1・2・3・4		2	○							1
	データサイエンス入門	1・2・3・4		2	○		1					
	経営学2	2・3・4		2	○		1					
	会計学2	2・3・4		2	○		2		1			
	マクロ経済学	2・3・4		2	○		1					
	ミクロ経済学	2・3・4		2	○		1					
	商取引法	2・3・4		2	○							1
	会社法1	2・3・4		2	○		1					
	知的財産権法	2・3・4		2	○		1					1
	統計学	2・3・4		2	○		1					
	データサイエンスとビジネス	2・3・4		2	○		1	1				
	小計（17科目）	—	—	32		—	17	2	2			
学部共通科目	データ・ビジュアライゼーション	2・3・4		2	○							1
	ボランティア活動演習	1・2・3・4		2		○	1					
	NPOインターンシップ〔短期〕	1・2・3・4		2		○	1					
	NPOインターンシップ〔長期〕	1・2・3・4		4		○	1					
	企業インターンシップA	2・3・4		2		○			1			
	企業インターンシップB	2・3・4		2		○			1			
	英文法基礎	1・2・3・4		2	○		1					
	ビジネス英語初級	1・2・3・4		2	○			1				1
	ビジネス英語中級	1・2・3・4		2	○			1				1
	異文化理解と実践英語	1・2・3・4		2	○		1					
	English Conversation5	3・4		2	○			1				
	English Conversation6	3・4		2	○		1	1				
	応用日本語1	1・2・3・4	2		○		1					
	応用日本語2	1・2・3・4	2		○		1					
	応用日本語3	2・3・4	2		○		1					
	応用日本語4	2・3・4	2		○		1					
	卒業論文	4		2		○						
	横浜企業家研究	1・2・3・4		2	○		1					
	地域課題研究	1・2・3・4		4	○		2					
	特別講義A5	1・2・3・4		2	○							
	特別講義A6	1・2・3・4		2	○		1					
	特別講義A7	1・2・3・4		2	○							
	特別講義A8	1・2・3・4		2	○							
小計（23科目）	—	—	8	42		—	14	4	2			3

学科基本科目	ビジネスとAI	1・2・3・4		2	○			1					
	情報社会の倫理	1・2・3・4		2	○		2						
	商品企画とeコマース	1・2・3・4		2		○		1					
	アプリ制作	1・2・3・4		2		○		1					
	初級簿記1	1・2・3・4		2	○		1		1				
	初級簿記2	1・2・3・4		2	○				1				
	中級簿記	1・2・3・4		4	○							1	
	上級簿記	1・2・3・4		4	○							1	
	マーケティング2	2・3・4		2	○		2						
	消費者行動論	2・3・4		2	○			1					
	マーケティングリサーチ	2・3・4		2	○			1					
	流通論	2・3・4		2	○							1	
	ロジスティクス論	2・3・4		2	○		1						
	工業簿記	2・3・4		2	○		1						
	管理会計論	2・3・4		2	○				1				
	小計 (15 科目)	—	—	34	—	—	7	5	3				3
	学科専門科目	グローバルマーケティング	2・3・4		2	○		1					
		デジタルマーケティング	2・3・4		2	○		1					
		ソーシャルメディアマーケティング	2・3・4		2	○		1					
		ブランドマネジメント	2・3・4		2	○		1					
広告論		2・3・4		2	○		1						
商品開発論		2・3・4		2	○		1						
国際物流論		2・3・4		2	○		1						
保険論		2・3・4		2	○							1	
インターネットプロモーション演習		2・3・4		2	○			1					
モバイルアプリ開発の基礎		2・3・4		2	○			1					
財務諸表論		2・3・4		2	○		1						
財務諸表分析		2・3・4		2	○				1				
会計監査論		2・3・4		2	○		1						
税務会計		2・3・4		2	○		1						
英文会計		2・3・4		2	○		2						
経済史		2・3・4		2	○							1	
民法2		2・3・4		2	○		1						
会社法2		2・3・4		2	○		1						
租税法1		2・3・4		2	○		1						
租税法2		2・3・4		2	○		1						
デザインマネジメント入門		2・3・4		2	○							1	
商業施設デザイン		2・3・4		2	○							1	
グラフィック&プロダクトデザイン		2・3・4		2	○			1					
戦略的経営論		2・3・4		2	○		1						
経営管理論		2・3・4		2	○							2	
経営組織論		2・3・4		2	○							1	
人的資源管理論		2・3・4		2	○		1						
モバイルアプリ開発演習		3・4		2		○		1					
AIアプリケーションの開発		3・4		2		○		1					
ビッグデータ解析		3・4		2	○		1						
グローバルビジネス論		3・4		2	○							2	
中小企業論		3・4		2	○							1	
経済政策		3・4		2	○		2						
金融論		3・4		2	○		1						
国際経済学	3・4		2	○		1							
ユニバーサルデザイン	3・4		2	○							1		
特別講義C1	1・2・3・4		2	○									
特別講義C2	1・2・3・4		2	○									
特別講義C3	1・2・3・4		2	○									
特別講義C4	1・2・3・4		2	○									
小計 (40 科目)	—	—	80	—	—	24	4	1				11	

商 学 科	会社運営の基礎	1・2・3・4		2	○			1				
	ビジネスプラン作成の基礎	1・2・3・4		2	○		1					
	会社運営の実践1	2・3・4		4		○			1			
	会社運営の実践2	2・3・4		4		○			1			
	ビジネスプランニング演習	2・3・4		4		○						
	職業指導1	3・4		2	○						1	
	職業指導2	3・4		2	○						1	
	特別講義C5	1・2・3・4		2	○							
	特別講義C6	1・2・3・4		2	○							
	特別講義C7	1・2・3・4		2	○							
	特別講義C8	1・2・3・4		2	○							
小計（11科目）	—	—	28	—	—	—	1	3	—	—	—	2
合計（164科目）		—	—		—	—						
学位又は称号	学士（商学）		学位又は学科の分野	経済学関係								
卒業・修了要件及び履修方法							授業期間等					
学部共通科目から76単位（社会人基礎科目から24単位、総合基礎科目から10単位、学部基礎科目から18単位、学部専門科目から14単位、学部自由選択科目から10単位）、学科専門科目から48単位（学科基本科目から16単位、学科専門科目から20単位、学科自由選択科目から12単位）、合計124単位以上修得すること。なお、学科科目学科自由選択科目12単位、他学科の専門プログラム配当科目を選択することもできる。 （履修科目の登録の上限：各学期20単位・年間40単位）							1学年の学期区分		2期			
							1学期の授業期間		14週			
							1時限の授業の標準時間		100分			

(注)

- 学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行うおとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行うおとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行うおとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 「主要授業科目」の欄は、授業科目が主要授業科目に該当する場合、欄に「○」を記入すること。なお、高等専門学校等の学科を設置する場合は、「主要授業科目」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 「単位数」の欄は、各授業科目について、「必修」、「選択」、「自由」のうち、該当する履修区分に単位数を記入すること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等」と読み替えること。
- 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員（助手を除く）」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員（助手を除く）」と読み替えること。
- 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
 - 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。
 - 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。
- 高等専門学校等の学科を設置する場合は、高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については、備考欄に「☆」を記入すること。

教 育 課 程 等 の 概 要															
(商学部 観光マネジメント学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
社会力基礎科目	社会力演習1	1・2・3・4		2				○		5	6	1			
	社会力演習2	1・2・3・4		2				○		5	6	1			
	ICTリテラシー1	1・2・3・4		2				○		4	5	2			2
	ICTリテラシー2	1・2・3・4		2				○		4	5	2			2
	キャリアデザイン1	2・3・4		2			○		2	2	1				1
	キャリアデザイン2	2・3・4		2			○		2	2	1				1
	キャリアデザイン3A	3・4			2		○		1		1				
	キャリアデザイン3B	3・4			2		○								
	キャリアデザイン3C	3・4			2		○								
	キャリアデザイン4A	3・4			2		○		1		1				
	キャリアデザイン4B	3・4			2		○								
	キャリアデザイン4C	3・4			2		○								
	English Conversation1	1・2・3・4			2		○		1	1					4
	English Conversation2	1・2・3・4			2		○		1	1					4
	English Conversation3	2・3・4			2		○			1					3
	English Conversation4	2・3・4			2		○			1					3
小計（16科目）		—	—	20	12			—		26	30	10			20
学部共通科目 総合基礎科目	文学	1・2・3・4			2			○		1					
	世界史	1・2・3・4			2			○							1
	日本史	1・2・3・4			2			○							1
	倫理学	1・2・3・4			2			○		1					
	哲学	1・2・3・4			2			○		1					
	心理学	1・2・3・4			2			○		1	1				
	文化人類学	1・2・3・4			2			○							1
	社会学	1・2・3・4			2			○		1					
	日本国憲法	1・2・3・4			2			○		1					
	社会心理学	1・2・3・4			2			○		1					
	環境科学	1・2・3・4			2			○			1				
	コンピュータ活用1	1・2・3・4				1									1
	コンピュータ活用2	1・2・3・4				1									1
	スポーツ演習	1・2・3・4			2				○		1	1			1
	健康科学	1・2・3・4			2			○				1			
	現代社会の諸問題A	1・2・3・4			1			○							
	現代社会の諸問題B	1・2・3・4			1			○							
	中国語会話1	1・2・3・4			2			○			1				
	中国語会話2	1・2・3・4			2			○			1				
	中国語会話3	1・2・3・4			2			○			1				
	中国語会話4	1・2・3・4			2			○			1				
	総合日本語1	1・2・3・4			2			○			1				
	総合日本語2	1・2・3・4			2			○			1				
	総合日本語3	2・3・4			2			○			1				
	総合日本語4	2・3・4			2			○			1				
	国際理解A	1・2・3・4			2				○		1				
	国際理解B	1・2・3・4			2				○		1				
	国際理解C	1・2・3・4			2				○		1				
	国際理解D	1・2・3・4			2				○		1				
	特別講義A1	1・2・3・4			2			○							
	特別講義A2	2・3・4			2			○							
	特別講義A3	1・2・3・4			2			○							
	特別講義A4	1・2・3・4			2			○		1					
小計（33科目）		—	—		62			—		8	15	2			6

留学生必修
留学生必修
留学生必修
留学生必修

学部基礎科目	ゼミナール1	2・3・4		2		○		13	6	2			
	ゼミナール2	2・3・4		2		○		13	6	2			
	ゼミナール3	3・4		2		○		21	7	2			
	ゼミナール4	3・4		2		○		21	7	2			
	ゼミナール5	4		2		○		17	7	3			
	ゼミナール6	4		2		○		17	7	3			
	商学基礎	1・2・3・4		2		○		1					
	経済学基礎	1・2・3・4		2		○		1	1				
	会計基礎	1・2・3・4		2		○		1		1			
小計（9科目）	—	—		18		—		105	41	15			
学部専門科目	マーケティング1	1・2・3・4		2		○		3	1				
	経営学1	1・2・3・4		2		○		1					
	会計学1	1・2・3・4		2		○		2		1			
	民法1	1・2・3・4		2		○		1					
	労働法	1・2・3・4		2		○						1	
	社会保障論	1・2・3・4		2		○						1	
	データサイエンス入門	1・2・3・4		2		○		1					
	経営学2	2・3・4		2		○		1					
	会計学2	2・3・4		2		○		2		1			
	マクロ経済学	2・3・4		2		○		1					
	ミクロ経済学	2・3・4		2		○		1					
	商取引法	2・3・4		2		○						1	
	会社法1	2・3・4		2		○		1					
	知的財産権法	2・3・4		2		○		1				1	
統計学	2・3・4		2		○		1						
データサイエンスとビジネス	2・3・4		2		○		1	1					
小計（17科目）	—	—		32		—		17	2	2			4
学部自由選択科目	データ・ビジュアルライゼーション	2・3・4		2		○							1
	ボランティア活動演習	1・2・3・4		2			○	1					
	NPOインターンシップ〔短期〕	1・2・3・4		2			○	1					
	NPOインターンシップ〔長期〕	1・2・3・4		4			○	1					
	企業インターンシップA	2・3・4		2			○			1			
	企業インターンシップB	2・3・4		2			○			1			
	英文法基礎	1・2・3・4		2		○		1					
	ビジネス英語初級	1・2・3・4		2		○			1			1	
	ビジネス英語中級	1・2・3・4		2		○			1			1	
	異文化理解と実践英語	1・2・3・4		2		○		1					
	English Conversation5	3・4		2		○			1				
	English Conversation6	3・4		2		○		1	1				
	応用日本語1	1・2・3・4	2			○		1					
	応用日本語2	1・2・3・4	2			○		1					
	応用日本語3	2・3・4	2			○		1					
	応用日本語4	2・3・4	2			○		1					
	卒業論文	4		2			○						
	横浜企業家研究	1・2・3・4		2		○		1					
	地域課題研究	1・2・3・4		4		○		2					
	特別講義A5	1・2・3・4		2		○							
	特別講義A6	1・2・3・4		2		○		1					
	特別講義A7	1・2・3・4		2		○							
	特別講義A8	1・2・3・4		2		○							
小計（23科目）	—	—	8	42		—		14	4	2			3
学科基本科目	観光学	1・2・3・4	2			○		1					
	観光マネジメント	1・2・3・4	2			○		1					
	横浜の観光計画と課題	1・2・3・4	2			○			1				
	横浜リサーチツアー	1・2・3・4	2			○			1				
	観光情報の作成と発信	1・2・3・4	2			○						1	
	観光ビジネスイングリッシュ	1・2・3・4	2			○						1	
	グローバル時代の観光市場	2・3・4	2			○			1				
	ホスピタリティ・マーケティング	2・3・4	2			○		1					
	宿泊ビジネス基礎	2・3・4	2			○						1	
	旅行ビジネス基礎	2・3・4	2			○						1	
	観光交通ビジネス基礎	2・3・4	2			○		1					
	フードビジネス基礎	2・3・4	2			○		1					
小計（12科目）	—	—	8	16		—		5	3				4

程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。

- (1) 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。
 - (2) 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - (3) 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。
- 11 高等専門学校を学科を設置する場合は、高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については、備考欄に「☆」を記入すること。

教 育 課 程 等 の 概 要															
(商学部 経営情報学科)															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
社会力 基礎科目	社会力演習1	1・2・3・4		2				○		5	6	1			
	社会力演習2	1・2・3・4		2				○		5	6	1			
	ICTリテラシー1	1・2・3・4		2				○		4	5	2		2	
	ICTリテラシー2	1・2・3・4		2				○		4	5	2		2	
	キャリアデザイン1	2・3・4		2			○		2	2	1			1	
	キャリアデザイン2	2・3・4		2			○		2	2	1			1	
	キャリアデザイン3A	3・4			2		○		1		1				
	キャリアデザイン3B	3・4			2		○								
	キャリアデザイン3C	3・4			2		○								
	キャリアデザイン4A	3・4			2		○		1		1				
	キャリアデザイン4B	3・4			2		○								
	キャリアデザイン4C	3・4			2		○								
	English Conversation1	1・2・3・4			2		○		1	1					4
	English Conversation2	1・2・3・4			2		○		1	1					4
	English Conversation3	2・3・4			2		○			1					3
	English Conversation4	2・3・4			2		○			1					3
小計(16科目)		—	—	20	12			—		26	30	10			20
学部共 通科目	文学	1・2・3・4			2		○			1					
	世界史	1・2・3・4			2		○								1
	日本史	1・2・3・4			2		○								1
	倫理学	1・2・3・4			2		○			1					
	哲学	1・2・3・4			2		○			1					
	心理学	1・2・3・4			2		○			1	1				
	文化人類学	1・2・3・4			2		○								1
	社会学	1・2・3・4			2		○			1					
	日本国憲法	1・2・3・4			2		○			1					
	社会心理学	1・2・3・4			2		○			1					
	環境科学	1・2・3・4			2		○				1				
	コンピュータ活用1	1・2・3・4			1				○						1
	コンピュータ活用2	1・2・3・4			1				○						1
	スポーツ演習	1・2・3・4			2			○			1	1			1
	健康科学	1・2・3・4			2		○					1			
	現代社会の諸問題A	1・2・3・4			1		○								
	現代社会の諸問題B	1・2・3・4			1		○								
	中国語会話1	1・2・3・4			2		○				1				
	中国語会話2	1・2・3・4			2		○				1				
	中国語会話3	1・2・3・4			2		○				1				
	中国語会話4	1・2・3・4			2		○				1				
	総合日本語1	1・2・3・4			2		○				1				
	総合日本語2	1・2・3・4			2		○				1				
	総合日本語3	2・3・4			2		○				1				
	総合日本語4	2・3・4			2		○				1				
	国際理解A	1・2・3・4			2				○		1				
	国際理解B	1・2・3・4			2				○		1				
	国際理解C	1・2・3・4			2				○		1				
	国際理解D	1・2・3・4			2				○		1				
	特別講義A1	1・2・3・4			2		○								
	特別講義A2	2・3・4			2		○								
	特別講義A3	1・2・3・4			2		○								
	特別講義A4	1・2・3・4			2		○			1					
小計(33科目)		—	—	62				—		8	15	2			6

スポーツマネジメントコース必修
スポーツマネジメントコース必修

留学生必修
留学生必修
留学生必修
留学生必修

学部基礎科目	ゼミナール1	2・3・4		2		○		13	6	2			
	ゼミナール2	2・3・4		2		○		13	6	2			
	ゼミナール3	3・4		2		○		21	7	2			
	ゼミナール4	3・4		2		○		21	7	2			
	ゼミナール5	4		2		○		17	7	3			
	ゼミナール6	4		2		○		17	7	3			
	商学基礎	1・2・3・4		2		○		1					
	経済学基礎	1・2・3・4		2		○		1	1				
	会計基礎	1・2・3・4		2		○		1		1			
小計（9科目）	—	—		18		—		105	41	15			
学部専門科目	マーケティング1	1・2・3・4		2		○		3	1				
	経営学1	1・2・3・4		2		○		1					
	会計学1	1・2・3・4		2		○		2		1			
	民法1	1・2・3・4		2		○		1					
	労働法	1・2・3・4		2		○							1
	社会保障論	1・2・3・4		2		○							1
	データサイエンス入門	1・2・3・4		2		○		1					
	経営学2	2・3・4		2		○		1					
	会計学2	2・3・4		2		○		2		1			
	マクロ経済学	2・3・4		2		○		1					
	ミクロ経済学	2・3・4		2		○		1					
	商取引法	2・3・4		2		○							1
	会社法1	2・3・4		2		○		1					
	知的財産権法	2・3・4		2		○		1					1
	統計学	2・3・4		2		○		1					
	データサイエンスとビジネス	2・3・4		2		○		1	1				
小計（17科目）	—	—		32		—		17	2	2			4
学部自由選択科目	データ・ビジュアライゼーション	2・3・4		2		○							1
	ボランティア活動演習	1・2・3・4		2			○	1					
	NPOインターンシップ〔短期〕	1・2・3・4		2			○	1					
	NPOインターンシップ〔長期〕	1・2・3・4		4			○	1					
	企業インターンシップA	2・3・4		2			○			1			
	企業インターンシップB	2・3・4		2			○			1			
	英文法基礎	1・2・3・4		2		○		1					
	ビジネス英語初級	1・2・3・4		2		○			1				1
	ビジネス英語中級	1・2・3・4		2		○			1				1
	異文化理解と実践英語	1・2・3・4		2		○		1					
	English Conversation5	3・4		2		○			1				
	English Conversation6	3・4		2		○		1	1				
	応用日本語1	1・2・3・4	2			○		1					
	応用日本語2	1・2・3・4	2			○		1					
	応用日本語3	2・3・4	2			○		1					
	応用日本語4	2・3・4	2			○		1					
	卒業論文	4		2			○	17	7	3			
	横浜企業家研究	1・2・3・4		2		○		1					
	地域課題研究	1・2・3・4		4		○		2					
	特別講義A5	1・2・3・4		2		○							
	特別講義A6	1・2・3・4		2		○		1					
	特別講義A7	1・2・3・4		2		○							
	特別講義A8	1・2・3・4		2		○							
小計（23科目）	—	—	8	42		—		31	11	5			3

商 学 科	会社運営の基礎	1・2・3・4		2		○				1					
	ビジネスプラン作成の基礎	1・2・3・4		2		○			1						
	会社運営の実践1	2・3・4		4			○			1					
	会社運営の実践2	2・3・4		4			○			1					
	ビジネスプランニング演習	2・3・4		4			○								
	健康運動演習 (エアロビクス)	2・3・4		2			○			1					
	健康運動演習 (水泳)	2・3・4		2			○						1		
	健康運動演習 (レジスタンス運動)	2・3・4		2			○			1					
	健康運動演習 (ウォーキング・ジョギング)	2・3・4		2			○			1					
	体力測定評価法	3・4		2		○				1					
	トレーニング論	3・4		2		○				1					
	特別講義M5	1・2・3・4		2		○									
	特別講義M6	1・2・3・4		2		○									
	特別講義M7	1・2・3・4		2		○									
	特別講義M8	1・2・3・4		2		○									
	小計 (6科目)				36					1					1

合計 (164科目)															
------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

学位又は称号	学士 (商学)	学位又は学科の分野	経済学関係
--------	---------	-----------	-------

卒業・修了要件及び履修方法	授業期間等	
学部共通科目から76単位 (社会人基礎科目から24単位、総合基礎科目から10単位 (スポーツマネジメントコースは14単位)、学部基礎科目から18単位、学部専門科目から14単位、学部自由選択科目から10単位)、学科専門科目から48単位 (学科基本科目から指定の科目8単位を含む16単位 (スポーツマネジメントコースは指定の科目4単位を含む12単位)、学科専門科目から20単位、学科自由選択科目から12単位)、合計124単位以上修得すること。なお、学科科目学科自由選択科目12単位、他学科の専門プログラム担当科目を選択することもできる。 (履修科目の登録の上限：各学期20単位・年間40単位)	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	14週
	1時限の授業の標準時間	100分

- (注)
- 学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行うおとす場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科 (学位の種類及び分野の変更等に関する基準 (平成十五年文部科学省告示第三十九号) 別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。) についても作成すること。
 - 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
 - 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
 - 「主要授業科目」の欄は、授業科目が主要授業科目に該当する場合、欄に「○」を記入すること。なお、高等専門学校の学科を設置する場合は、「主要授業科目」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
 - 「単位数」の欄は、各授業科目について、「必修」、「選択」、「自由」のうち、該当する履修区分に単位数を記入すること。
 - 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
 - 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
 - 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等」と読み替えること。
 - 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員 (助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員 (助手を除く)」と読み替えること。
 - 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
 - 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。
 - 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。
 - 高等専門学校の学科を設置する場合は、高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については、備考欄に「☆」を記入すること。

授業科目の概要				
(商学研究科商学専攻)				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
基礎科目	データサイエンスと商学		本講義では、データサイエンス全般の解説を行うとともに、統計学の基礎を講義する。前半では、商学におけるデータサイエンス全般について説明した後、本学における講義内容をひとつずつ俯瞰し、なにが学べるのかを教える。ついでデータサイエンスで共通した基盤となる統計学の基礎知識を分布関数、独立性、検定などの基本概念を中心に講義し、演習を行う。なお、最後に修士論文としてどのような方向を考えているかを発表してもらい、修士論文作成に向けてのオリエンテーションを行う。	講義20時間 演習10時間
	経営とデータサイエンス		本講義の目的は、ディプロマポリシーにある「社会・産業・企業が持つ経営上のあるいは社会的な課題を見出す能力」を身に付けることである。経営学（経営管理論）は、学修上は大きく「戦略」と「組織」の二つに分けて考えられる。まずは、戦略論・組織論の基本的・伝統的理論を体系的に学び、その上で、事例を活用し、近時の産業・企業等がかかえる経営上の課題を具体的に理解する。本研究科の中心的テーマである課題解決にあたり「データサイエンスから導出される知見を活用し実践的で効果的な方策」を見出している事例等も紹介する。学生は、修士論文の題材選択の一助とすることができる。本講義の後に「経営戦略論」「組織行動論」等の価値創造科目を履修することで、より具体的にデータを活用して、課題を解決する能力を身に付けることができる。	
	情報セキュリティ論		本講義は、情報セキュリティと情報倫理に関する重要なテーマについて議論する。データを取り扱う上で情報セキュリティや情報倫理の知識は不可欠である。講義では、リスクと脅威、暗号と認証によるセキュリティ技術、個人情報保護や著作権保護などについて学ぶ。本講義の受講生は、データサイエンスにおける情報セキュリティの重要性を認識し、データを適切に活用できるようになることを目指す。授業計画は以下の通りである。第1～3回はセキュリティの基礎、第4～8回は暗号と認証の仕組み、第9～13回は情報倫理の重要な概念、第14回は今後の課題を扱う。	
データサイエンス科目	データアナリシス1		データサイエンスで使う統計分析の手法について講義する。本講義では、回帰分析を中心に基本的な推定モデルの原理を学習する。不偏性・効率性・一致性などの概念で推定とはどういうことか、また、検定とは何を調べているのか、などを学ぶ。説明変数が複数あるときの対処法、交絡への対処、定性的変数の扱い、構造変化、不均一分散、系列相関などを学ぶ。統計ソフトはRを使う予定である。2回に1回は演習を行い、コードを書く。演習では実際の売り上げデータなどを使って統計分析の課題を解いていく。理論で学習した統計手法を実際のデータにすぐに適用し、Rのコードを書くところまで到達することで実践的な分析能力を身に付ける。	講義15時間 演習15時間
	データアナリシス2		本講義では、より実践的な状況での分析手法を学ぶ。取り上げるのは、サンプリングバイアスの問題と対処方法、パネル分析、因果判定のための実験的方法とDifference-in-Difference、時系列分析とグレンジャー因果、ロジット回帰とコンジョイント分析である。サンプリングバイアスは実際に扱うデータは不可避免的に発生する問題で必須である。また因果関係は経営側による介入が効果を上げているかの判定には必須となる。やはり、2回に1回は演習を行い、コードを書く。理論で学習した統計手法を実際のデータにすぐに適用し、Rのコードを書くところまで到達することで実践的な分析能力を身に付ける。	講義15時間 演習15時間
	プログラミング論		企業経営において、活動に関わる様々なデータが存在するが、これらのデータを用い機械学習などを行うにはプログラミングが必要となる。プログラミング言語の実装においては、データサイエンスや機械学習に関連するさまざまなライブラリが用意されている。これらのライブラリやモジュールを使うためには適切にデータ処理を行い、ライブラリやモジュールが要求する形式に変換する必要がある。本講義では、Pythonを対象とし、データサイエンスや機械学習で必要となるプログラミング力を身につけ、それらで要求されるデータ構造を理解することを目的とする。	講義10時間 演習20時間

データサイエンス科目	データエンジニアリング科目	データ処理論	データサイエンスを用いて社会課題を解決するには、様々なデータを扱う必要がある。データ収集を行う方法として、自身でデータを集める方法や公開データを活用する方法などが考えられる。本講義は、必要なデータを収集する方法を理解し、得られたデータについての適切な処理と解析方法を身につけることが目的である。	講義10時間 演習20時間
		機械学習論	与えられたデータからの機械学習は、社会・企業・組織が持つ経営上の課題、社会的課題の解決に、もはや不可欠なものとなりつつある。本講義では、演習を通じて、機械学習を用いた、経営上の課題や社会的課題の解決ができる力を身につけることを目的とする。授業計画は次の通りである。第1回は授業の目的や到達目標などについて理解した上で、データサイエンスにより社会にどのような変化が起きているかについて学ぶ。第2回と第3回で、データサイエンスを用いた社会的課題の発見、データサイエンスの役割・活用現場の特徴、課題解決のためのデータ収集方法について学ぶ。第4回は教師あり学習と教師なし学習を中心に機械学習の概要と手順を学ぶ。第5～6回は機械学習の基礎となるプログラミングを扱う。第7回は課題解決のためのクラスタリングと次元削減のプログラミングを学ぶ。第8回～12回まででディープラーニングを用いた問題解決のためのプログラミングを学び、経営上の課題・社会課題の解決力を身につける。第13～14回では社会課題で自然言語処理が必要な場合についてのプログラミングについて学び、課題解決力を養う。	講義20時間 演習10時間
		データモデリング	本講義は、企業のマーケティング実務におけるデータサイエンスの適用方法についての理解を深めていく。具体的には、マーケティング実務におけるデータサイエンスの適用事例をケースとして紹介すると共に、デモデータを用いて実際に学んでいくことを目標とする。	
価値創造科目	経営分野	経営戦略論	本講義の目的は、基本科目「経営とデータサイエンス」等で学んだ「社会・産業・企業が持つ経営上のあるいは社会的な課題を見出す能力」を起点に、「データサイエンスに関する汎用的な知識とスキル」を活用し、本研究科の中心的テーマである「経営上のあるいは社会的な課題の解決策を導出する方策」を理解すること。戦略論の基本理論・事例に加え、特に「データサイエンスから導出される知見を活用して方策」を導出する事例は詳細に分析する。学生が関心を有するテーマについて、データを活用し、問題解決策導出過程を、プレゼンするという講義も取り入れたい。更に、データドリブン経営、DXという概念が、経営に与える影響についても触れる。学生は、修了後、データ社会の中で、自身がどのような社会的使命を帯び、役割・位置づけを得るかも理解することが出来る。	
		組織行動論1	本講義は、組織の中の個人や集団の態度・行動のメカニズムと関連する様々な成果について産業・組織心理学、人的資源管理論、社会心理学などの知見をもとに体系的に理解した上で、組織の目標達成に向けた戦略的なマネジメント方法を探究することを目的とする。本講義では、主に、メゾ・レベルの観点からリーダーシップ論、公正理論に焦点を当て、組織の中の個人や集団の組織・態度のメカニズムについての理論や概念を修得すると共に、研究方法（主に量的なデータ分析）を学ぶこととする。	
		組織行動論2	本講義は、組織の中の個人や集団の態度・行動のメカニズムと関連する様々な成果について産業・組織心理学、人的資源管理論、社会心理学などの知見をもとに体系的に理解した上で、組織の目標達成に向けた戦略的なマネジメント方法を探究することを目的とする。本講義では組織行動について、主にミクロ・レベルの観点から従業員の人的資本・社会関係資本・心理的資本に焦点を当て、それらと従業員の態度・行動・成果との関連についての理論や概念を修得すると共に、研究方法（主に量的なデータ分析）を学ぶこととする。	

価値創造科目	マーケティング分野	マーケティングリサーチ特論	本講義は、企業のマーケティング実務におけるマーケティングリサーチの役割や方法論の理解を深めていく。 具体的には、マーケティングリサーチの理論的な方法論を説明したのちに、実際に受講生で調査票作成やレポート作成を演習形式で学んでいく。 データサイエンス領域における本講義の位置づけは、データ収集の方法や実務への活用を理解していくことを目指す。	
		ソーシャルメディアマーケティングと消費者行動	本講義では、今日の企業経営におけるソーシャルメディアを活用したマーケティングの重要性をふまえて、デジタルを前提とした消費者行動を理解することによって企業の経営上の課題を把握する能力を身に付ける。そして、購買行動モデルにもとづいて適切なコンテンツを設計し、インサイトデータ分析をもとに施策の効果を検証し改善を行うことを通じて、デジタルを効果的に活用しながら経営上の課題を具体的に解決するためのマーケティング能力を身に付けることを目的とする。	
		スポーツアナリティクス特論	本講義は、スポーツにおけるデータの収集・分析・活用プロセスを体系的に学び、経営・マーケティングとの共通理解を深めることを目的とする。本講義で扱うスポーツアナリティクスは、収集・蓄積されたデータの分析から得られた情報を、目的に応じて活用することである。近年の企業経営・マーケティングと同様に、スポーツの現場でも、コーチやプレイヤーの勘や経験に基づく主観的な意思決定に加えて、データや情報に基づく合理的な意思決定との融合が重要とされている。本講義を通して、スポーツ現場におけるデータサイエンスと経営・マーケティングの結びつき議論し理解を深める。	
	会計分野	会計情報論	本講義は、会計情報の機能について種々の面において考える。説明責任の意義について考え、会計情報の利害調整機能および意思決定支援機能の捉え方について考える。如上の論点を通じて会計学に固有の論理を知り、その意義を理解する。とりわけ経済学的な考え方や会計学的な考え方の異同を理解する。会計情報論を材料として事物の論理的な整理および説明の意味を理解する。	
		経営分析論	本講義は、①～③のスキルを身に付けることを目的としている。①財務データを収集し分析するスキルを身に付ける。具体的な方法としては、有価証券報告書に記載されている財務諸表について、収益性、安全性、効率性、成長性などの視点から業種別に分析する。このときに、業種ごとに公表されている財務指標との比較検討を行う。②調査した結果をまとめ、プレゼンテーションするスキルを身に付ける（①の結果をPowerPoint資料にまとめ、マイクを持って人前で話す報告会を実施する。）③ディベートをするスキルを身に付ける。具体的には、大学院生同士でディベートをするだけでなく、企業経営者をお招きし、ともにディベートを行う。	
	演習科目	演習1	本演習は、秋学期に開講され、1年生が履修する。学生は修士論文に向けて学士課程での卒業論文を発展させるための報告をするか、あるいは指導教員が提示する重要論文を報告してもらう。自分の研究テーマを見つけるヒントを得ることが目的である。学生の関心の幅が広いことにそなえて3人の教員が担当し、必要な指導を行う。	共同
演習2		本演習は、春学期に開講され、修士2年の学生が自らの関心にそって選んだ論文を読んで議論をし、自分の研究テーマの構想を作成する。学生は論文を選び、熟読の上で担当教員並びに他の学生と討議する。また学生は自分の研究テーマの構想を発表し、皆で討議し、必要なアドバイスを受ける。データ収集まで到達して分析を開始するところまで達することを目的とする。3人の教員が担当する。	共同	
演習3		本演習は、秋学期に開講され、2年生が履修する。学生には、実用的なデータ収集のアドバイスを与え、さらに発展的な関連文献の購読をさせて、知見を深めてもらう。また、修士論文の中間報告をしてもらい、討議してはアドバイスを受ける。修士論文自体は研究指導として担当教員から指導されているが、演習3はこれを公開で議論することで学生に第三者からの幅広い見地から助言を与え、論文の完成度を高めることが目的である。3人の教員が担当する。	共同	

演習科目	研究指導（修論指導）1	<p>本研究指導は、修士論文の指導を行う。春学期においては、設定されたテーマにそって先行論文のサーベイと必要なデータの探索・収集を行う。指導教員は読むべき論文の指示と、データ探索・収集の上での助言を行う。途中段階で演習等で構想を報告してコメントをもらう。データの利用可能性に難があることが分かった場合は、テーマ設定の見直しがありうる。見直しは早い段階で行うことが望ましく、指導教員はよく注意を払い学生を指導する。</p> <p>①. 田中 辰雄 統計分析の専門家として、データ分析の実務についての指導を担当する。学生が回帰分析、時系列分析、パネル分析、ロジット回帰、因果判定など統計的手法を使う場合、これを研究指導する。</p> <p>②. 浮田 善文 AIと情報処理の専門家として、AIを利用した分析を担当する。企業のAI利用の調査あるいはAIを使ったマーケティングなどについての調査・分析を行う時、これを研究指導する。</p> <p>3. 友岡 賛 会計理論の専門家として企業会計の分析を担当する。企業会計そのものの含意や読み解きなどが必要な時、これを研究指導する。</p> <p>4. 原 郁代 会計実務の専門家とし財務分析の指導を担当する。企業財務で出てくる様々な指標を使った調査・分析を行う場合、これを研究指導する。</p> <p>5. 平井 友行 経営戦略論の専門家として経営戦略に関わる修士論文を研究指導する。出資や提携、製品開発など企業戦略に関わる分析を行う場合、これを研究指導する。</p> <p>6. 松嶋 智子 情報セキュリティの専門家としてセキュリティ関連の問題を担当する。学生がデータセキュリティに関する調査・研究を行うとき、また調査自体がセキュリティの問題をはらむとき、必要な研究指導を行う。</p> <p>7. 諸上 詩帆 企業組織論の専門家として、企業内での組織に関わる問題を担当する。学生が組織内の昇進や人事、人材配置などに関わる調査・分析を行う場合、これを研究指導する。</p> <p>8. 柳田 義継 プログラミングとマーケティングの専門家として、マーケティングにおけるプログラミング技術の指導を担当する。学生がスマホ等を使ってマーケティング研究を試みる時、これを研究指導する。</p> <p>10. 渋瀬 雅彦 経営とマーケティングの専門家として、マーケティングに関するテーマ全般を担当する。学生がデータを使ったマーケティングをテーマにとりあげる場合、これを研究指導する。</p> <p>11. 永野 智久 スポーツマネジメントの専門家として、スポーツに関するデータ分析全般を担当する。スポーツ自体でのデータ利用あるいはスポーツビジネスでのデータ利用を調査分析する場合、これを研究指導する。</p>	共同
演習科目	研究指導（修論指導）2	<p>本研究指導は、引き続き修士論文の指導を行い、修士論文として完成させる。データ収集を続けるとともに得られたデータについて、指導教員の監督のもとに分析を繰り返し、修士論文を仕上げていく。途中で演習で中間報告を行い第三者からの批判・コメントを受ける。指導教員は論文の構成や表現にまで踏み込んで指導を行い、修士論文の完成度をあげていく。</p> <p>①. 田中 辰雄 統計分析の専門家として、データ分析の実務についての指導を担当する。学生が回帰分析、時系列分析、パネル分析、ロジット回帰、因果判定など統計的手法を使う場合、これを研究指導する。</p> <p>②. 浮田 善文 AIと情報処理の専門家として、AIを利用した分析を担当する。企業のAI利用の調査あるいはAIを使ったマーケティングなどについての調査・分析を行う時、これを研究指導する。</p> <p>3. 友岡 賛 会計理論の専門家として企業会計の分析を担当する。企業会計そのものの含意や読み解きなどが必要な時、これを研究指導する。</p> <p>4. 原 郁代 会計実務の専門家とし財務分析の指導を担当する。企業財務で出てくる様々な指標を使った調査・分析を行う場合、これを研究指導する。</p> <p>5. 平井 友行 経営戦略論の専門家として経営戦略に関わる修士論文を研究指導する。出資や提携、製品開発など企業戦略に関わる分析を行う場合、これを研究指導する。</p> <p>6. 松嶋 智子 情報セキュリティの専門家としてセキュリティ関連の問題を担当する。学生がデータセキュリティに関する調査・研究を行うとき、また調査自体がセキュリティの問題をはらむとき、必要な研究指導を行う。</p>	共同

			<p>7. 諸上 詩帆 企業組織論の専門家として、企業内での組織に関わる問題を担当する。学生が組織内の昇進や人事、人材配置などに関わる調査・分析を行う場合、これを研究指導する。</p> <p>8. 柳田 義継 プログラミングとマーケティングの専門家として、マーケティングにおけるプログラミング技術の指導を担当する。学生がスマホ等を使ってマーケティング研究を試みる時、これを研究指導する。</p> <p>10. 洪瀬 雅彦 経営とマーケティングの専門家として、マーケティングに関するテーマ全般を担当する。学生がデータを使ったマーケティングをテーマにとりあげる場合、これを研究指導する。</p> <p>11. 永野 智久 スポーツマネジメントの専門家として、スポーツに関するデータ分析全般を担当する。スポーツ自体でのデータ利用あるいはスポーツビジネスでのデータ利用を調査分析する場合、これを研究指導する。</p>	
--	--	--	--	--

学校法人横浜商科大学 設置認可等に関わる組織の移行表

令和6年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和7年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
横浜商科大学				横浜商科大学				
商学部		3年次		商学部		3年次		
商学科	180	6	732	商学科	180	6	732	
		3年次				3年次		
観光マネジメント学科	70	4	288	観光マネジメント学科	70	4	288	
経営情報学科	80	-	320	経営情報学科	80	-	320	
		3年次				3年次		
計	330	10	1,340	計	330	10	1,340	
				横浜商科大学大学院				
				商学研究科				
				商学専攻				
					5	-	10	大学院新設（認可申請）
				計	5	-	10	